

高校球児が適切な 投打フォーム学ぶ

南砺で講習会

野球の投球や打撃の動作をスポーツ理論物理学の視点から分析し、適切な体の使い方学ぶ講習会は9日、南砺市の井波社会体育館であり、県内の高校球児ら約50人が講義や実技を通して理解を深めた。

スポーツ理論物理学は、宇宙研究などで使われる「理論研究」をスポーツに活用し、人体の動きのメカニズムを解明する学問。力学的根拠に基



適切な体の使い方を説明する
坂井教授＝井波社会体育館

づいた知見は一部のプロ選手も注目し、今年のドラフト会議で巨人から2位指名された森田駿哉投手らも投球フォームを固める際の参考にし、球速アップにつなげたという。

県高校野球のレベルアップを図ろうと、とнами野球研究会が企画。坂井伸之山口大教授が講師を務め、富山と富山商、富山北部、氷見の4校の野球部員や指導者ら約50人が出席した。

坂井教授は、慣性力などの物理法則を根拠に示し、「打撃の回転軸は後ろ脚ではなく前脚に」「投球のリリース直前に前膝を伸展させる」などと助言した。

スクラップス優勝

小杉スポーツ杯軟式野球

第50回小杉スポーツ杯軟式野球記念大会は10日、射水市の薬勝寺野球場（小杉）で決勝を行い、スクラップスが11―3で騎兵隊を下し、初優